

主の御名を賛美します。

『わがたましいよ。主をほめたたえよ。主が良くしてくださったことを何一つ忘れるな。』

(詩篇 103:2)

いつも石巻宣教のために捧げられる諸教会の皆様のお祈りと御支援を心から感謝致します。

今年の日本列島は、猛暑を通り越し、酷暑となってしまいました。ここ石巻も 30℃を超える日々が続き、夜も涼しい浜風は吹かず、寝苦しく暑い夏でした。

そんな暑い中、浜岡典子先生と中高生&スタッフの方々が、JYLC キャンプを終えたその足で石巻に来て下さることになり、浜岡先生たちも 8月15日(水)の早朝、近江を出発し石巻で合流、総勢 10名からなる近江教会、篠山教会キャラバン隊が遠路はるばる来て下さいました。

次の日からさっそく、チラシ(夏のコンサート・フレンドシップサンデー礼拝・夏祭り)、教会案内、トラクトをセットにして約 2000部を近隣に配布し、案内訪問も 21軒のお宅に行いました。

また、雨の中、駐車場の雑草をきれいに取って下さいました。

(普段は、仙台教会から兄弟が来て下さり、草刈りをして下さっています。)

写真はきれいになった駐車場と抜いた草の袋の山です。

浜岡先生たちは、土曜日は、午後2時から「浜岡典子 夏のコンサート」、翌日曜日は、「フレンドシップサンデー礼拝」、午後は仙台教会でのコンサートご奉仕をされ、その夜、近江へと帰られました。

翌月曜日(8/20)には関西チームが来て下さり、更に、水曜日には、関東チームが夏祭りの為に駆けつけて下さいました。

夏祭り当日(8/23)には瀏野先生、仙台教会、古川教会からも応援に来て下さり、夏祭りは無事行われました。

人数的には、昨年よりも少なくなりましたが、初めて来られた方もおられ感謝でした。

語られた福音の種が人々の心に残り、主が信じる方を起こして下さることを願っています。

(高橋勝義)



【祈りの課題】

1. 主が、まことの神を求める方々を起こして下さい、礼拝につながりますように。
2. 月二回(第一水曜日と第三金曜日)の「お茶っこ会」のために。
3. 10月28日(日)にはフレンドシップサンデー礼拝(服部真光師第二弾)を行います。7月の続きを楽しみにしておられる方々が引き続き来られますように。

「夏のコンサート」

2018年8月18日(土)

昨年の秋に続き、「浜岡典子 夏のコンサート」を開くことができました。JYLC キャンプの疲れを感じさせないほどにパワフルな賛美の音が、会堂一杯に響き、また、孫のような高校生、大学生のお茶とお菓子のサービスも喜んで頂きました。すっかり顔なじみの典子先生のギターに合わせ、懐メロを楽しく歌い、なごやかな雰囲気の中で先生は昨年12月に召されたお母様のお証しを語り始められました。

若くして未亡人になったお母様の悲しみ、それ故ずっと神様を拒み続けておられた…。皆さん頷いておられました。

しかし、最期の時が近づき、イエス様を信じて天に帰られました。そのことを書き記したマンガトラクト「逆転サヨナラ満塁ホームラン！」が配られると、「へえーマンガも描くの～」の声があがりました。しかし、典子先生は「これは、神様の力によって書かせて頂いたので作者は『神様』です。」と。

分かりやすいマンガトラクトは心に届いたようで、みなさん熱心に読んでおられました。

ここに集われたすべての方が救われますように。

☆参加者：46名



「フレンドシップセンター礼拝」

8月19日(日)

典子先生と青年たちの特別賛美、そして浜岡正年先生が、イザヤ書 41:17～20 から「**荒野を水のある沢に変えてくださるお方**」と題し、御言葉を取り次いで下さいました。

浜岡先生は、近江と石巻には深い関わりがあると語り始められました。それは北上川の治水工事を行った川村孫兵衛重吉についてです。彼は近江の国の伊達藩領地にいた時、伊達政宗にその才能を見出され、召し抱えられて石巻に来たキリシタンであった、というのです。

また、近江教会では、サン・ファン・パウティスタ号の劇を行ったそうですが、浜岡先生の役は、嵐の中、積み荷の米を海に投げ捨てようとした水夫の役で、「殿様の大切な米を捨てるとは…」と、切られそうになる様子を再演して下さいました。先生の熱演に一同大笑い。みんなの心が開かれました。物質的な面での復興が進んでも、心の復興、即ち、心の平安と希望、そして、

罪の赦しと死に打ち勝つ永遠のいのちの祝福は、まことの神しか与えることが出来ない。孫兵衛が荒地を肥沃な土地に変えたように、人生の荒地である試練や苦しみをいやし、最大の荒野である死をも勝利させて下さるお方、荒野を



水のある沢に変えてくださるイエス・キリストを信じませんか、と力強く語って下さいました。

☆礼拝人数：37名

「夏まつり」

8月23日(木)

関西チーム5名・関東チーム4名・仙台チーム5名・古川チーム2名・石巻2名による奉仕で今年も「夏まつり」を行うことが出来ました。

台風情報を聞きながら、天候が守られるように祈らされましたが、当日は、かき氷を食べるのに丁度良い気温まで上がったので、感謝でした。

開場が11時30分であるにもかかわらず、早い方は10時頃にはお見えになり、準備は慌ただしくなりました。いつものように石巻焼きそばは、仮設支援で親しくなったSさん姉妹が作って下さり、大好評でした。

福音亭ばすた(淵野先生)の分かりやすい福音落語に始まり、当重菫姉の歌へと続けました。

そして、水野先生のメッセージでは奥様を天に送られた証しをされ、被災地の人々の、身内を失う悲しみと痛みを知ったと語られました。最後に、恒例の「ビンゴ」が始まると、皆さんカードの番号に目が釘付け、歓声とため息です。こうして、今年も無事、夏まつりを終えることが出来ました。諸教会の皆様のお祈りを心から感謝します。

この日の夕方、関西チームは帰るはずだったのですが、台風が大阪直撃の影響で飛行機が欠航となったために、もう一晚、石巻教会に泊まることになりました。

その夜は、関西チーム・関東チーム、それぞれ今回の支援活動で教えられたことを分かち合い、また地元の方からの海の恵みの差し入れで感謝な時を持つことが出来ました。

今までは、夏祭りが終わると、すぐ帰って行かれるので、分かち合う時を持てませんでした。台風も主からの素晴らしいプレゼントと、主の恵みを共に数えることが出来ました。

☆参加者：65名



石巻宣教支援会へのご支援と、お祈りを心から感謝します。